

## 陸上競技 実施要領

期日：平成29年4月23日（日）

会場：鴻巣市立陸上競技場

### 1 陸上競技参加資格

- 1) 彩の国パラリンピック選手育成強化事業 強化指定選手最終選考会実施要項第9項の参加資格に該当する者。
- 2) 1500m、5000mについては参加標準記録を突破している者。（別紙1参照）

### 2 日程（予定） \*申込み状況によって、変更される場合もあります。

8：00	役員受付	8：15	役員打合せ
9：00	選手受付		
9：50	選考会開始	14：30	選考会終了

### 3 競技規則

競技規則は、平成29年度日本陸上競技連盟競技規則および、本選考会の申し合わせ事項によるものとする。

### 4 実施種目・参加制限

申込みは1人2種目までとする。

\*クラスにより参加できる種目が異なりますので、別紙1「実施種目」を参照の事

競走競技 100m、200m、400m、800m、1500m、5000m

跳躍競技 走幅跳

投てき競技 砲丸投げ

4種目はクラスT20（知的障がい）参加可能種目

### 5 トップアスリート特例（選考会参加の免除）

平成28年度に次の大会（ジャパンパラ、ID日本選手権、全国障害者スポーツ大会、関東選手権、その他国際大会）において埼玉強化指定標準記録を突破している者は、別に定める「強化指定選手申請書」の提出をもって申請することができます。

### 6 その他

- (1) 選手は主催者が用意するナンバーカード（ゼッケン）を胸背部につけて下さい。
- (2) 選手は役員の指示に従い、事故防止に努めてください。
- (3) 引率責任者は必ず出場選手を引率し、競技者すべての行動に対して責任を持ってください。
- (4) 選考会の結果を受けて、強化指定選手を3つのクラスに分け選考します。

## 陸上競技 申し合わせ事項

- 1 競技用車椅子（レーサー）を使用する選手は、ヘルメットを着用してください。
- 2 ウォームアップについては、競技に支障の無い時間帯・場所で行ってください。詳しい時間帯については、大会当日お知らせいたします（補助競技場が無い場合）。
  - (1) レーサー使用者は1レーンを使用してください。その他の選手については、3レーンより外側を使用してください。
- 3 介助者・伴走者について
  - (1) 介助者・伴走者が必要な選手については、競技開始60分前までに、本部に申請してください。その場で、ピブスをお渡しいたします。なお、終了し次第、返却をお願いいたします。
  - (2) 介助者および伴走者は、競技役員の指示に従い、競技場内では競技者の競技に有利になるような助言等をしないでください。競技役員からの注意・警告を聞き入れない場合は、当該競技者は失格となります。
- 4 召集について
  - (1) 召集時間は、競技開始30分前～15分前までに、スタート地点または競技実施場所で行います。
  - (2) 召集を受けなかったり、時間に遅れたりすると棄権と見なされ、競技に出場できません。
  - (3) 2種目出場の選手で、競技時間と召集時間が重なる場合は、本部まで申し出てください。
- 5 競技用靴について
  - (1) 競技用靴については、スパイクシューズの使用を認めます。
  - (2) スパイクシューズのピンの数は11本以内で、長さは、9mm以内とします。
- 6 不正出発について
  - (1) トラック種目での不正出発は、各レースで1回のみとし、その後に不正出発をした競技者はすべて失格となりますので注意してください。
- 7 競技方法について
  - (1) 競走競技
    - ・ 競技は1回のみとします。
    - ・ 100m、400mについてはセパレートレーンで行います。
    - ・ セパレートレーンで行う視覚障がい者のトラック競技で、伴走者を伴う競技者には、1競技者に2レーンを割り当てます。
    - ・ 5000mについては、男女共25分以内のタイム制限を設け、それを超えた場合には競技の途中であっても審判長の指示で競技を終了とします。
  - (2) 跳躍競技、投てき競技について
    - ・ 跳躍競技、投てき競技の試技は、ローテーションで行います。試技は3回とします。
    - ・ 跳躍競技、投てき競技ともに、練習は試技順に1回とします。
    - ・ 視覚障がいの競技者で、必要に応じて競技役員や競技補助員が方向を指示します。